

平成18年6月29日

各中学校長 様  
各 理 事 様

鳥羽市中学校体育連盟 会長 勢力 吉男  
志摩市中学校体育連盟 会長 前田 博明

平成18年度 第56回  
鳥羽志摩中学校陸上競技大会  
兼・第59回三重県中学校陸上競技選手権  
大会予選会 について

記

1. 主 催 鳥羽市・志摩市中学校体育連盟
2. 後 援 鳥羽志摩中学校校長会 鳥羽市・志摩市教育委員会
3. 主 管 志摩陸上競技協会
4. 期 日 平成18年8月24日(木) 25日(金) 予備26日(土)  
10時00分 開会式 10時30分 競技開始
5. 場 所 県営陸上競技場 伊勢市宇治館町 0596-22-0188
6. 種 目 男子県大会種目(14種目)  
100m 200m 400m 800m 3000m 110mH  
低学年4×100mR 4×200mR 走り高跳び 走り幅跳び  
三段跳び 棒高跳び 砲丸投げ 円盤投げ  
学年種目 1年100m 2年100m 1年1500m  
女子県大会種目(11種目)  
100m 200m 800m 2000m 100mH  
低学年4×100mR 4×100mR 走り高跳び 走り幅跳び  
砲丸投げ 円盤投げ  
学年種目 1年100m 2年100m 1年1000m
7. 競技規則 2005年度日本陸上競技連盟規則と本大会規則を適用する。  
◎低学年リレーのオーダーは 2年-1年-1年-2年  
(リレーはできるだけ同一ユニフォームを着用のこと)  
◎ハードルは次の規格で行う。( )内は女子。  
第1ハードルまで 13.72m(13m)  
高さ 91.4cm(76.2cm)  
ハードル間 9.14m(8.0m)

8. 申し込み ◎申し込みは各学校単位とする。
- ◎各校からの申し込みは県大会種目については男女とも1種目3名以内  
リレーは1チーム、1人2種目（リレーは除く）までとする。  
学年種目は学校からの出場制限無し
- ◎申し込みは個票は、必ず所定の用紙を使用し、一覧表はA4版形式とする。  
8月23日（水）のプログラム編成会議に持参する。（浜島中）  
13:00（時間厳守）{申し込みフォーマット（エクセル形式）は  
<http://www3.ocn.ne.jp/~muk/mousikomi06.xls>でダウンロードして下さい。  
個票は切り離しておく。公認記録を記入すること。公認記録のない時は、  
校内陸上記録会等の記録を（）で記入。（実際に出している記録を記入  
してください。）
- ◎一覧表、個票（男子は黒、女子は赤）は確実に記入すること。  
種目別参加人数を確実に記入し、8月22日までに向井までワークシート  
をメールで送付する。  
<http://www3.ocn.ne.jp/~muk/tobasima.htm/sankasu.xls>
- ※期日以降の申し込み、その他の変更は認めない。
- ◎各校のナンバー氏名学校名を表計算ソフトで入力し(mousikomi06.xls  
を)8月22日までに、向井までメールで届ける。  
メールアドレス：muk@lilac.ocn.ne.jp

9. 表彰 個人は6位まで、総合は8位。トラック・フィールド別総合3位まで。  
学校対抗得点は 1位8点・・・8位1点とする。  
学年種目については、総合得点に入れないものとする。  
優秀選手については本年度東海大会出場、通信陸上入賞者、本大会で二  
種目優勝、大会新記録を達成した者で、競技態度等他の選手の見本となる  
者とする。

10. ナンバー ◎県登録ナンバーとする。無いところは、下記の学校ナンバーを使用する。  
男女同じ番号がないように注意。足りないところは8000番台を使用。
- ◎大きさは縦18cm横25cm。背と胸につける。  
（棒高、走り高はそれぞれ、背と胸のみでよい。）
- ◎字の幅は1cm以上で、男女とも黒で明記すること。大会当日は3桁  
のナンバーを使用しても良い。

学校番号 (腰ナンバー)

6001～6049	磯部 (132)	6050～6099	的矢(133)
7100～7149	鳥羽東(117)	7150～7199	浜島(123)
7250～7299	文岡 (129)	7300～7349	答志(118)
7350～7399	東海 (130)	7400～7449	神島(119)
7450～7499	安乗 (131)	7550～7599	波切(124)
7600～7649	加茂 (120)	7650～7699	船越(125)
7700～7749	鏡浦 (121)	7750～7799	片田(126)
7800～7849	長岡 (122)	7850～7899	和具(127)
7900～7949	越賀 (128)		

## 各校の審判割当数と補助員について

### 1. 審判

鳥羽東	5	磯部	3	
神島	2	的矢	2	
答志	2	浜島	3	
加茂	2	文岡	5	
長岡	2	安乗	2	
鏡浦	2	東海	4	
		波切	4	
	15	船越	2	
		片田	2	
		和具	4	
		越賀	2	33

以上の割当人数でお願いします。

### 2. 補助員

東海	7	棒高跳び・高跳び
和具	7	出発・スターター
文岡	7	走幅跳・三段跳
磯部	6	投てき
的矢	2	誘導
浜島	5	決勝 ゴールタイマー
安乗	2	接待
船越	2	表彰
波切	4	用器具 風向風速
片田	2	誘導
越賀	4	招集
鳥羽東	7	記録
加茂	2	ハードル (1, 2, 3, 4)
鏡浦	2	ハードル (5, 6)
長岡	2	ハードル (7, 8)
答志	2	ハードル (9, 10)
神島		

以上の割り当て人数でお願いします。

# 審判員報告用紙

理事名 ( ) 中学校  
 割り当て人数 ( ) 人

審判員氏名	希望する係
	引率

引率者名も1名御記入ください。

**期日 7月20日(木) (厳守)**

FAX 0599-84-0087 (和具中)

E-mail imagine@shima.mctv.ne.jp(井上)

## 種目別参加数報告用紙

学校名 \_\_\_\_\_

男子	出場数	女子	出場数
100		100	
1年100		1年100	
2年100		2年100	
200		200	
400			
800		800	
1年1500		1年1000	
3000		200	
110H		100H	
低学年R		低学年R	
800R		400R	
高跳び		高跳び	
棒高跳			
幅跳び		幅跳び	
三段跳び			
砲丸投		砲丸投	
円盤投げ		円盤投げ	

**期日 8月22日(火) (厳守)**

FAX 0599-84-0089

E-mail muk@lilac.ocn.ne.jp(向井)

## 注意事項

- 1、本大会は、2006年度日本陸上競技連盟の規則と本大会要項に基づいて行う。
- 2、招集について
  - ・トラック種目は、競技開始30分前より開始し、20分前に終了する。
  - ・フィールド種目は、競技開始40分前より開始し、30分前に終了する。
  - ・招集は、全種目200mのスタート地点裏の招集場で行うので、決められた時間に必ず集合すること。（時間に遅れた場合は棄権とみなす）
- 3、トラックとフィールドの種目を兼ねている者は、トラック種目を優先するが、必ず、フィールド種目の審判の許可を得てからその場を離れること。（許可なくトラック種目に行った場合は、フィールド種目を棄権したとみなす。）
- 4、トラック種目について
  - ・男女100m、200m、400m、800m、110mH、100mH、リレーの予選は2(3)着以降の中からプラス上げを選ぶ。上位8人（チーム）が決勝に進出する。その他のトラック種目についてはすべて一発決勝（タイムレース）とする。
  - ・予選でのプラス上げで、同記録（100分の1秒単位）がでた場合は、救済できる範囲では救済し、多数の場合は抽選を行う。
  - ・400M以下の種目ではプログラム記載のレーンで競技すること。尚、800M以上の種目では、18名までが1列目に並ぶこと。
  - ・リレーのオーダー用紙は招集完了の1時間前までに招集所に出すこと。未提出の場合は棄権とみなす。（オーダー用紙は記録席にあるので、各校で取りに来ること）
- 5、フィールド種目について
  - ・フィールド競技（走高跳、棒高跳を除く）は、3回の試技を行い記録の良い者から8名で決勝を行う。ベスト8の試技順は記録の低いものから順番となる。
  - ・走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投は第1試技は全て記録をとり、2回目以降は12番目程度の記録で計測ラインをもうける。
  - ・男子三段跳びは砂場から踏切まで10mのピットを使用する。（参加選手の配慮を）
  - ・バーの上げ方は次の通りとする。

	男子走高跳	女子走高跳	棒高跳
練習	140	115	200
	145	120	220
	150	125	240
	155	130	260
	160	135	280
	165	140	300
	以後3cmずつ	以後3cmずつ	以降10cmずつ

※順位決定戦については、走高跳は2cm、棒高跳は5cmずつ上下する。

- 6、スパイクのピンは、全天候性走路のため9mm以下のピンを使用すること。

- 7、サブトラックの使用については、次のことを厳守すること。
- ・ジョッグ及びウォーキングは、フィールド内の芝生を使用し、走路を使用しない。
  - ・内側の1、2レーンは、長距離のペース走専用とする。
  - ・内側の3～6レーンは、流し等の専用とする。
  - ・外側の7、8レーンは、ハードル専用とする。
  - ・投擲種目の練習は、禁止する。
  - ・跳躍種目の練習は所定のピットで行う。
  - ・走路は左回りとし、逆走は禁止する。
  - ・走路及びピット等を横切るときは、選手の妨害にならないように気をつけ、速やかに渡る。
- 8、雨天練習場の使用については、スタンド側を右に走行すること。逆走をしないように注意する。  
スタンド側1レーンはハードル専用。2、3レーンは流し専用とする。走路の横断は禁止する。オールウェザー部分はチームのベンチにすることを禁止する
- 9、本大会の県大会予選種目において3位までの入賞者と、4位～8位までの者で、標準記録(通信陸上での突破も含む)に達した者は10月14日、15日に行われる県大会(県営陸上競技場)への出場資格を得ることができる。
- 10、個人情報保護条例について  
個人情報保護条例の施行に伴い、申し込み時に、プログラム掲載、新聞紙上への結果掲載、ホームページ等への掲載の承諾を各校で確認しておいてください。  
一覧表に記入のこと。
- 11、その他
- ・ゴールした選手は、必ずスパイクをぬいで、中央通路を通過して移動すること。  
(本部付近を通らないこと)
  - ・サブトラックへの移動は、水ごう上のスタンドを通ること。
  - ・競技場、跳躍場では、自分の順番を待つ間は、腰をおろしていること。
  - ・ナンバーは、胸・背に付けること。(走高跳は前、棒高跳は後ろのみでよい。)
  - ・腰ナンバーは右腰の下に付けること。
  - ・自分の使用した道具等は責任をもって片付ける。
  - ・中体連の申し合わせ事項により、ジュース等の購入を禁止する。
  - ・必ずゴミは持ち帰ること。
  - ・決勝種目の競技終了後、1位～3位までの入賞者は表彰をおこなうので、すぐに表彰控え室に来ること。尚、本人が他の種目等で来られない場合には必ず代理を出すこと。
  - ・大会での傷害については応急処置のみで以後の責任は負わない。
  - ・競技場のスタンドは、防水加工がしてありますので、ガムテープを貼ったり、スパイクで入ったりしないこと。
  - ・メインスタンドはテントの設営を禁止する。
  - ・スタンド最前列は座って観戦すること。

# 県中学校陸上競技選手権大会

## 参加標準記録

種 目	男 子	女 子
100M	12" 34	13" 74
200M	24" 94	28" 84
400M	56" 44	
800M	2' 13" 00	2' 35" 00
2000M		7' 30" 00
3000M	10' 00" 00	
110MH	17" 74	
100MH		18" 24
4×100MR		55" 84
4×200MR	1' 41" 00	
低4×100MR	51" 14	56" 64
走 高 跳	1m68	1m40
走 幅 跳	5m90	4m65
三 段 跳	12m00	
棒 高 跳	3m00	
砲 丸 投	(11m 予想です)	10m00
円 盤 投	29m00	24m00

決勝1位～3位のもの、さらに4位～8位の選手の中で通信陸上・本大会中に上記の記録を突破したものは県大会の出場権を得る。

## 陸上大会当日の準備と諸連絡について

- 1、集合 各校の理事は8時00分  
審判の先生は9時20分
- 2、打ち合わせ 準備に関する理事の打ち合わせ8時00分
- 3、朝の準備（補助員を使って）

走幅跳・三段跳	尾原（文岡）
走高跳・棒高跳	田中（東海）
砲丸投・円盤投	山本祐・余吾（磯部）
ゴールタイマー	向井（文岡）
スタプロ	井上（和具）
スターター	笠松（和具）
判定室	中山
風力計測装置	城山（波切）
ハードル	田中ア（鳥羽東）
本部室（放送）	小西（東海）
事務室挨拶	城山・小西
表彰台	小西（鳥羽東）
招集所	山本善（越賀）
記録室	田中ア（鳥羽東）
用器具室	向井（波切）
テント（投擲・走高跳・棒高跳）	理事《代表者 東》 上記以外の理事
- 4、審判打ち合わせ（9時30分 ※開会式前）

【司会 小西】

  - ・ 会長挨拶（勢力・前田）
  - ・ 審判長（山口）
  - ・ 専門部長（井上・田中）

全体打ち合わせ終了後、各パート別（主任を中心に）で打ち合わせ。
- 5、弁当について
  - ・ 各校引率分の弁当については、各校理事が渡す。
  - ・ 審判の先生分については、審判控室においておくので、各パートの主任の方が人数分とって行って行く。
- 6、後片付けについて
  - ・ 各ブロックで責任をもって、片付ける。尚、わからない場合は、用器具係に聞く。
- 7、開会式への参加について
  - ・ トラックの部の5以降、跳躍の部の3以降、投擲の部2以降は必ず参加する。
  - ・ 得点表の順番に整列する。
- 8、県大会への参加申し込みについて  
大会開催中に専門部長により行う。各校の顧問・理事は各校で確認のこと。
- 9、プログラムについては、各校2部ずつ、理事分一人1部配布する。審判分については、当日の朝、審判打ち合わせの時に渡す。余分については一般にも配布する。